

保管用

施工説明付き

取扱説明書

住宅用照明器具 (シーリングライト)

LEDシリーズ

※対象品番は裏表紙の仕様欄を
参照ください

もくじ

安全上のご注意	2
各部のなまえと付属部品	3
照明器具を取り付ける	4
照明器具を取り外す	5
各部のはたらき	6
あかりをつける	6
リモコンの便利な使いかた	8
故障かな?と思ったら	9
お手入れについて	9
ご使用上に関するお知らせ	10
仕様	裏表紙
保証とアフターサービス	裏表紙
点検とお手入れ方法	裏表紙



※イラストはイメージです。

お客様へ

このたびはお買い上げいただきまして、
まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、
正しく安全にお使いください。
特に、ご使用前に「安全上のご注意」(2~3ページ)を
必ずお読みください。
本説明書は大切に保管してください。

工事店様へ

- 本説明書は必ずお客様にお渡しください。

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。(下記は図記号の一例です。)



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

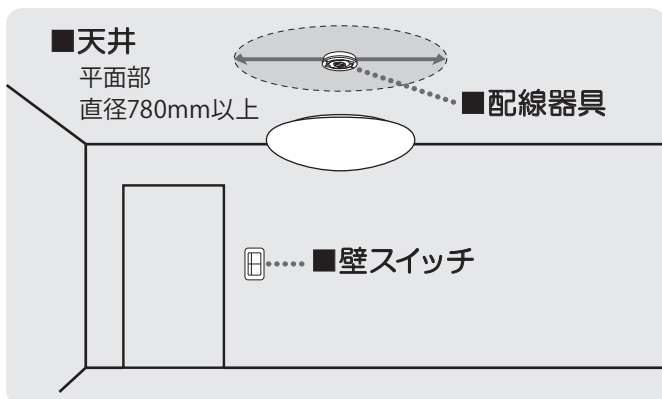


してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

警告



■天井



必ず守る

- 必ず上図のような平面部の直径が780 mm 以上の天井に取り付ける
落下によるけがのおそれがあります。

- 凹凸のある場所に取り付け
落下によるけがのおそれがあります。



※竿縁天井用アダプタ(別売:品番DP-40638)を使用した場合は、竿物天井に取り付けできます。
詳細は竿縁天井アダプタの取扱説明書をご参照ください。



禁止

- 補強のない場所に取り付け
(ベニヤ板や石こうボードなど)

落下によるけがのおそれがあります。

- 傾斜した場所に取り付け

火災、落下によるけがのおそれがあります。

◎この器具は 水平 天井面取り付け専用です。

※傾斜天井用アダプタ(別売:品番DP-40091)を使用した場合は、55度までの傾斜天井に取り付けできます。
詳細は傾斜天井用アダプタの取扱説明書をご参照ください。

■その他



分解禁止

- 器具を改造したり、部品交換をしない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。



必ず守る

- 異常を感じた場合、速やかに電源を切る
異常状態が収まったことを確認し、工事店、お買い上げの販売店、または弊社「CSセンター」にご相談ください。
- 交流100ボルトで使用する
過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。



禁止

■配線器具

- がたついたり、破損している配線器具(ローゼット・引掛シーリング)には取り付け
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。



- 適正な状態にない配線器具には無理に取り付け
落下によるけがのおそれがあります。

内装材の重ね貼りなどにより出しりが小さくなったもの



ローゼット10mm未満 引掛シーリング19mm未満

斜めに取り付けられたもの シーリングハンガーが取り付けられたもの

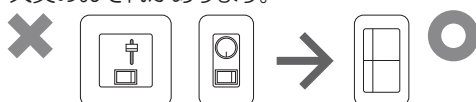


ケースウェイに取り付けられたもの 電源端子露出タイプ



■壁スイッチ

- 調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換
火災のおそれがあります。



◎販売店、工事店に交換を依頼してください。
(取り外しには資格が必要です。)



必ず守る

- アダプタは確実に取り付ける
落下してけがのおそれがあります。

- 本体は確実に取り付ける
破損して感電のおそれがあります。

- 本体が簡単に回転しないことを確認してからカバーを取り付ける
破損して感電のおそれがあります。

⚠ 注意



必ず守る

- 照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください

点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。

- 付属の梱包材は取り除いて使用する。そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。

- カバーは確実に取り付ける。落下してけがのおそれがあります。



接触禁止

- 点灯中や消灯直後はLEDやその周辺にさわらないやけどの原因となることがあります。
- ◎お手入れは電源を切り、LEDやその周辺が冷めてから行ってください。



水ぬれ禁止

- 浴室など湿気の多い場所や屋外で使えない
- 火災、感電の原因となることがあります。
- ◎この器具は防湿、防雨型ではありません。



禁止

- 温度の高くなるものを器具の真下に置かない
- 火災の原因となることがあります。
- ◎器具の真下にストーブなどを置かないでください。
- カバーを外した状態で点灯したLEDを長時間直視しない
- 目の痛みの原因となることがあります。

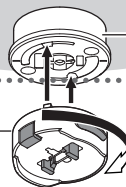
各部のなまえと付属部品

施工する前にまず付属部品をご確認ください

照明器具

本体取り付け用付属部品

アダプタ (1個)



配線器具

※引掛シーリングは、お客様の方で準備ください。

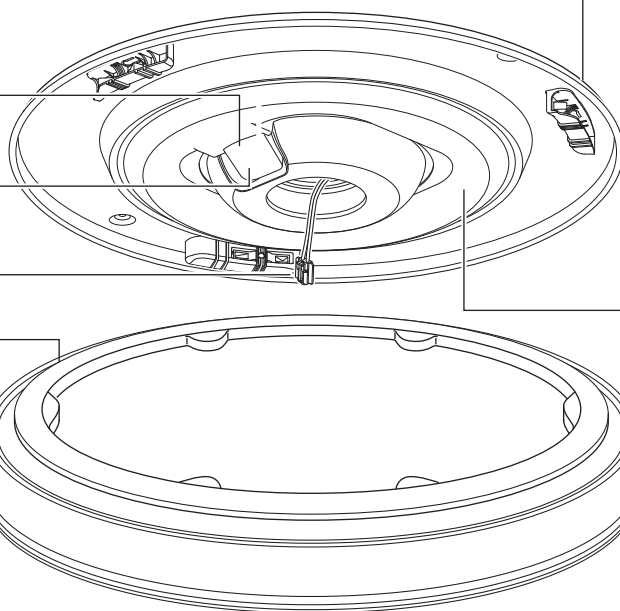
常夜灯

リモコン受信器

コネクタ

カバー

飾り



本体

※器具本体裏面に3カ所ついている黒スポンジは取らないでください。(本体回転防止のため必要です)



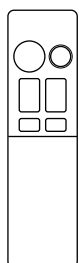
黒スポンジ

LED

リモコン付属部品

リモコン (1個)

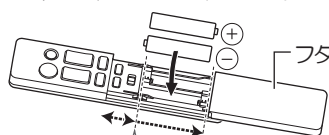
操作方法是、6～8ページ参照



単4形乾電池 (2本)

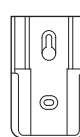


- リモコンのフタを開けて、単4形乾電池を2本入れる。



フタは、2度引くチャンネルボタンの下でいったん止まりますので、もう1度引いてください。

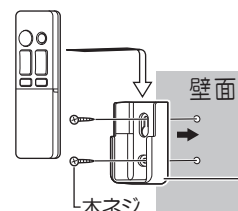
リモコンボックス (1個)



リモコンボックス用木ネジ (2本)



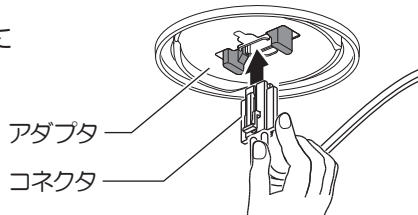
- リモコンボックスを使用して、紛失防止用に壁掛け収納できます。



リモコンボックス

5 コネクタをアダプタに差し込む

- ① 本体がグラグラしていないか、簡単に回転しないか確認する
- ② コネクタをアダプタに確実に差し込む

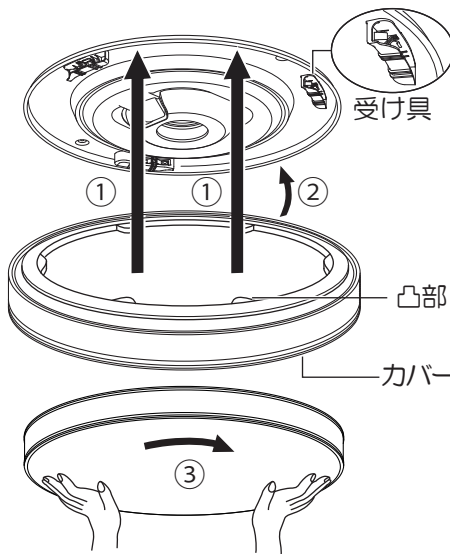


確認

- コネクタが差し込めない場合は、本体が正しく取り付けられていません。
→ 差し込めない場合は、前ページ手順 **3** に戻る。
- 引っ張って、コネクタが外れないことを確認する。
- 本体がグラグラしている状態や簡単に回転する状態でコネクタを差し込んだ場合は、コネクタを外して（☞ 下記「照明器具を取り外す」手順 **1** 参照）本体を押し上げる（☞ 前ページ手順 **3** 参照）

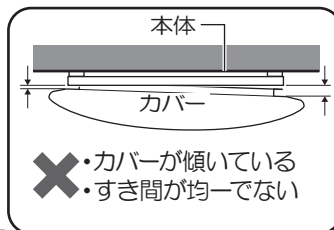
6 カバーを取り付ける

- ① カバーの凸部2カ所を本体の受け具と受け具の間に合わせる
- ② カバーを持ち上げる
- ③ カバーを回転が止まるまで右に回す（回転角度は、最大で約50度）
- ④ カバーが右に回転しないことを確認する



確認

- カバーが1回転しても取り付けできない場合は、本体が正しく取り付けられていません。
→ 取り付けできない場合は、
(1) コネクタを外す ☞ 下記「照明器具を取り外す」手順 **1** 参照
(2) 本体を押し上げる ☞ 前ページ 手順 **3** 参照
(3) コネクタを差し込む ☞ 上記 手順 **5** 参照
(4) 再度、手順 **6** を行う
- カバーが傾いていないか、すき間が均一になっているか確認する。
→ カバーが傾いたり、すき間が均一でない場合は、カバーの凸部が受け具にはまっていない可能性があります。
カバーを左に回して外し、再度、手順 **6** を行う



警告



本体が簡単に回転しないことを確認してからカバーを取り付ける
破損して感電のおそれがあります。

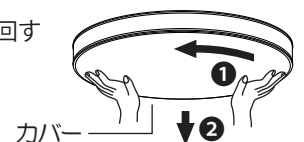
注意



カバーは確実に取り付ける
落下してけがのおそれがあります。

カバーの外しかた

- ① カバーを左に約20度回す
- ② カバーを外す



確認

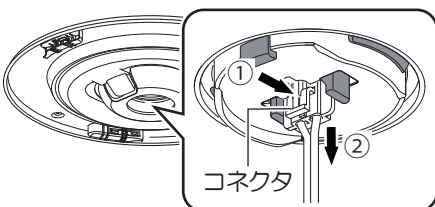
- カバーが1回転しても取り外せない場合は、本体が正しく取り付けられていません。
→ 取り外せない場合は、
**本体を押さえながらカバーのみを左に回して外し
本体を正しく取り付け**
☞ 左記 **確認** 手順(1)~(3)参照

照明器具を取り外す

安全のため、電源を切ってから行ってください

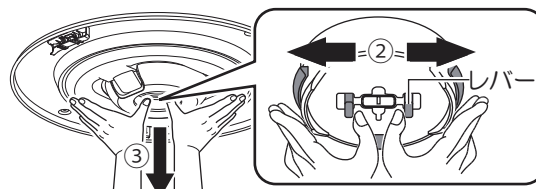
1 コネクタを外す

- ① つまみながら
- ② 引いて、外す



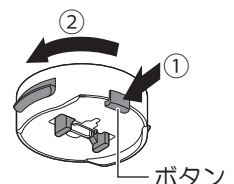
2 本体を外す

- ① 本体が落ちないようにしっかりと支え
- ② レバーを矢印の方向(左右)に広げたま
- ③ 本体をゆっくりと下げて、外す



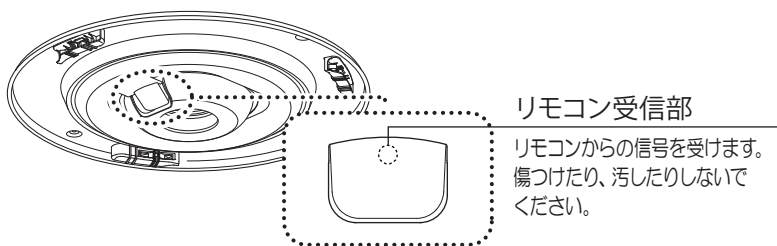
3 アダプタを外す

- ① ボタンを押しながら
- ② 左に回す



各部のはたらき

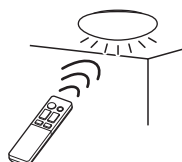
リモコン受信器 (本体)



リモコン

送信のしかた

必ず「リモコン送信部」を器具に向けて操作してください。



リモコン送信部

傷つけたり、汚したりしないでください。

点灯ボタン

LEDが明暗ボタン、調色ボタンで変更した明るさ、色で点灯（初期設定：昼白色、明るさ約70%）

☞ 7ページ「あかりを切り替える」、
「LEDを調光、調色し記憶させる」参照

調色ボタン

LEDの光色を白い色から暖かい色に連続で調節

☞ 7ページ「LEDを調光、調色し記憶させる」参照

全灯ボタン

LEDが昼白色、明るさ100%で点灯

☞ 7ページ「あかりを切り替える」参照

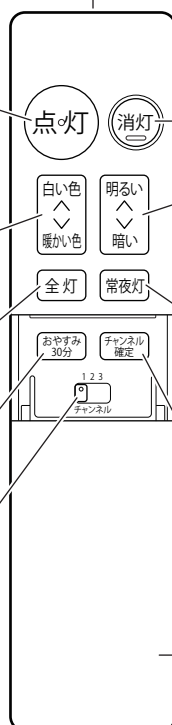
おやすみタイマーボタン

☞ 8ページ「おやすみタイマーをセットする」参照

チャンネルボタン

操作する器具のチャンネル（1～3）を設定

☞ 8ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」参照



消灯ボタン

明暗ボタン

LED（100%～約5%）、常夜灯（6段階）の明るさを調整

☞ 7ページ「LEDを調光、調色し記憶させる」、
「常夜灯を調光し記憶させる」参照

常夜灯ボタン (蓄光)

常夜灯が明暗ボタンで変更した明るさで点灯（初期設定：100%の明るさ）

☉ 太陽光や照明器具の光を蓄えて発光します。
☞ 7ページ「常夜灯を調光し記憶させる」参照

チャンネル確定ボタン

チャンネル（1～3）の設定を確定

☞ 8ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」参照

フタ

フタをスライドさせて、チャンネル切替を行います。

■リモコン操作時の音を消す方法

壁スイッチをONにして30秒以内に下記の操作を行ってください。

- 1 リモコンのフタをスライドさせて「リモコン送信部」を器具に向ける
- 2 リモコンの「点灯ボタン」と「チャンネル確定ボタン」を同時に押す

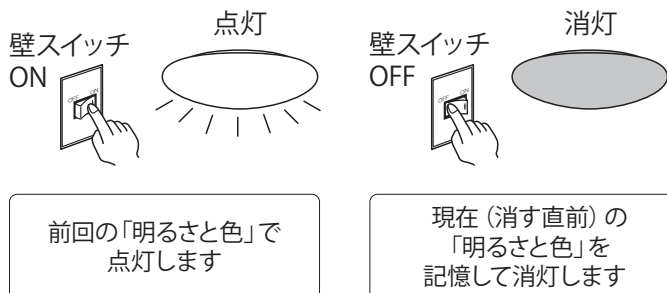
メモ

リモコン操作時の音を鳴らす場合は、上記の操作をもう一度行ってください。

あかりをつける

壁スイッチで照明器具を操作する

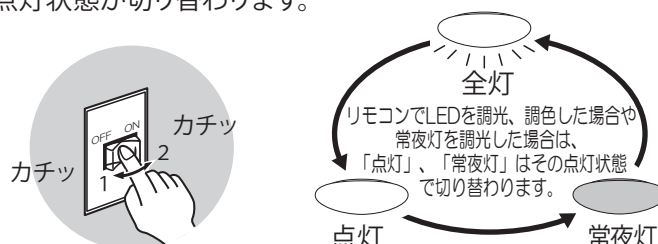
点灯・消灯する



● 壁スイッチを「OFF」にする前に、リモコンで消灯した場合再び壁スイッチで「ON」にしても、消灯状態になります。

点灯状態を切り替える

壁スイッチを素早く（約1秒以内）OFF→ONすると点灯状態が切り替わります。

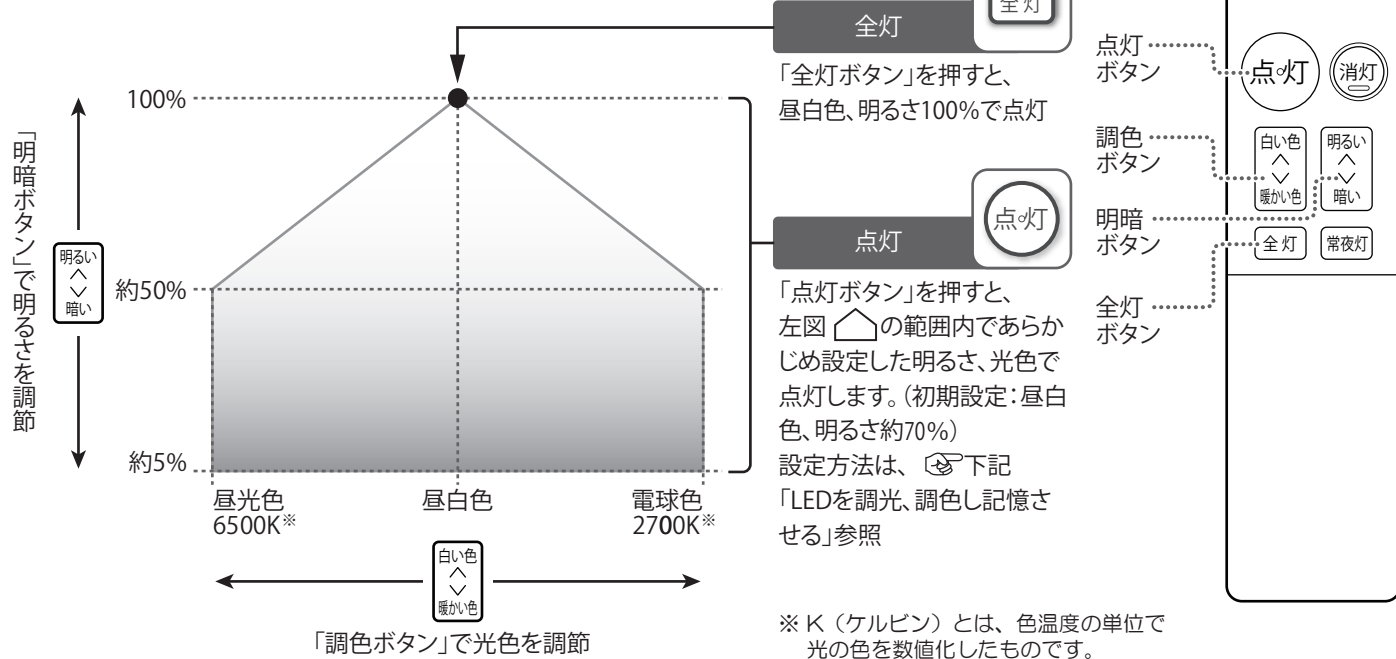


● 壁スイッチ1個で2台以上の照明器具を使用しないでください。点灯状態が、同時に切り替わらない場合があります。

あかりを切り替える

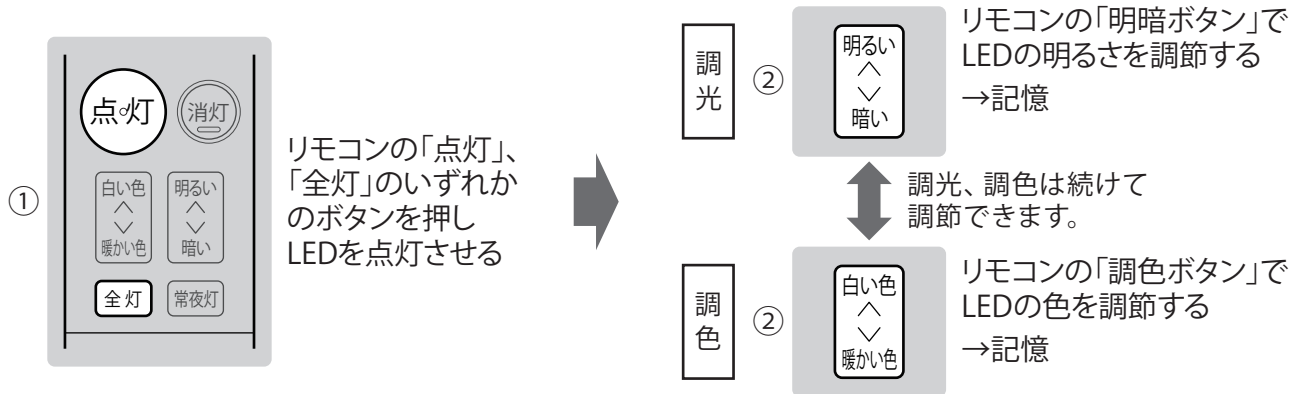
壁スイッチはONの状態にしてください

リモコンの「点灯ボタン」、「全灯ボタン」であかりの切り替えができます。
リモコンの「明暗ボタン」、「調色ボタン」で明るさ、光色を調節できます。



LEDを調光、調色し記憶させる

LED点灯中に調光、調色操作を行うと、その明るさ、色を「点灯ボタン」に記憶します。



メモ

- 再度、「点灯ボタン」を押すと、記憶した明るさ、色で点灯します。
- 「全灯ボタン」を押して明るさや色を調節した場合も「点灯ボタン」に記憶されます。

常夜灯を調光し記憶させる

常夜灯点灯時に調光操作を行うと、その明るさを記憶します。



メモ

- 6段階の明るさを調節できます。
- 再び左記の操作を行うまでは、記憶した明るさで点灯します。
- 常夜灯は調色できません。

リモコンの便利な使いかた

複数のリモコン照明器具を操作する

照明器具のチャンネルを変更できます

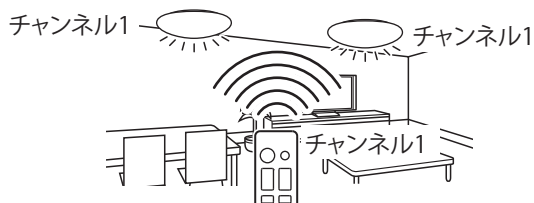
リモコンのチャンネルを切り替えると、1台のリモコンで複数の器具が操作できます。
また、リモコンで器具を操作できない時は、チャンネル設定が正しくない場合があります。

チャンネル設定でできること

●複数の器具を同時に点灯できます。

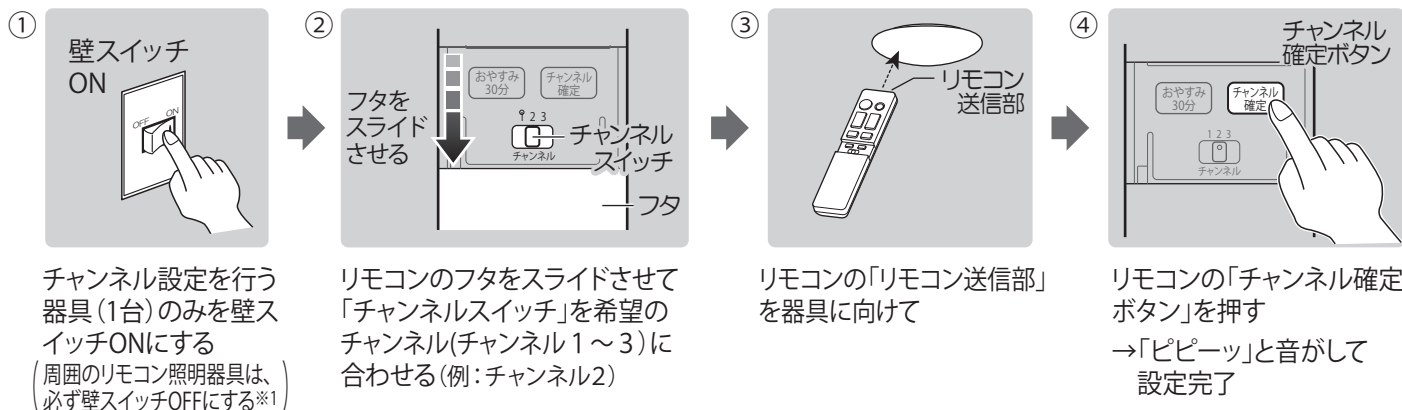
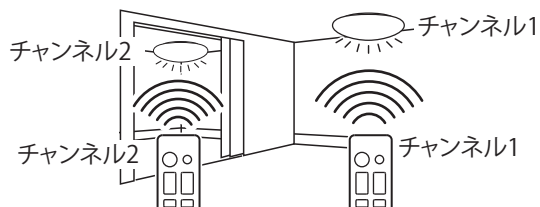
※器具間の距離やリモコン操作の方向により、同時に点灯しないことがあります。

(例) 一部屋に2台のリモコン照明器具がある場合



●近くの器具を別々に点灯できます。

(例) 隣室にもリモコン照明器具がある場合



メモ

本製品以外の照明を操作する場合は、チャンネル設定方法が異なります。ご使用の照明器具の取扱説明書をご覧ください。

※1: 周囲のリモコン照明器具が壁スイッチONの場合、その器具もチャンネルが切り替わることがあります。

おやすみタイマーをセットする

おやすみタイマーをONにすると、30分後に自動消灯を行います。

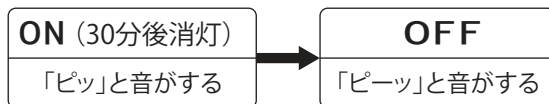
■おやすみタイマーをOFF/ONにする

メモ

●リモコンでの消灯時でも、「おやすみタイマー」は、ONされます。(壁スイッチがOFFの場合は、「おやすみタイマー」はONされません。)
「おやすみタイマー」がONのままで点灯させた場合、「おやすみタイマー」をONにした30分後に消灯します。

おやすみ
30分

リモコンの「リモコン送信部」を器具に向けて、
リモコンの「おやすみタイマーボタン」を押す



押すごとに切り替わります。

故障かな?と思ったら

下表に従って点検してください

現 象	考えられる原因	処 置	参照ページ
本体が取り付けかない	アダプタが正しく取り付けしていない	①アダプタを外し ⑤ 5ページ ③ ②再度、アダプタを取り付ける ⑤ 4ページ ②	
点灯しない	コネクタが確実に差し込まれていない	①コネクタを一度外し、 ⑤ 5ページ ① ②本体を押し上げてから ⑤ 4ページ ③ ③コネクタを再度、差し込む ⑤ 5ページ ⑤	
	壁スイッチがOFFになっている または、リモコンで消灯にして 壁スイッチをOFFにしていた	壁スイッチをONにする、または、 壁スイッチを素早く(1秒以内) OFF→ONにする	6ページ ⑤「壁スイッチで照明器具を 操作する」
勝手に点灯する	非常に短い停電などにより壁スイッチ 機能がはたらき、点灯状態が切り替わ った可能性がある	壁スイッチをOFFにする リモコンもしくは壁スイッチ操作で 点灯モードを切り替える	— ⑤ 6～7ページ 「あかりをつける」
勝手に消灯する	「おやすみタイマー」セット中である	「おやすみタイマー」を解除する	⑤ 8ページ 「おやすみタイマーをセットする」
リモコンで操作 できない	リモコンの電池が正しく入っていない	リモコンの電池を正しく入れる	⑤ 3ページ
	リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換する	⑤「各部のなまえと付属部品」
	リモコンと照明器具のチャンネルが 合っていない	リモコンのチャンネルを変更して 操作する	⑤ 8ページ 「複数のリモコン照明器具を操作する」
リモコン操作時に ちらつく	調光、調色動作をしている	調色、調光(下限付近)動作時、ちらつく場合がありますが異常では ありません。調色、調光動作が終わるとちらつきも止まります。	
点灯状態が 勝手に切り替わる	電子ブロックが異常動作状態になっている	壁スイッチをONにして30秒以内に 下記の①～③の操作を行ってください。 ①リモコンの「フタ」をスライドさせる ②「リモコン送信部」を器具に向ける ③リモコンの「チャンネル確定ボタン」 と「消灯ボタン」を同時に押す (「ピッ」と音がして、常夜灯が点灯 します) ●この操作を行うと、器具の初期設 定に戻りますので、下欄の「上記の 処置を行っても現象が続く場合」の ②を行ってください。 また、記憶させていた点灯のあかり、 常夜灯の点灯状態も初期設定に戻 りますので、設定をしなおしてください。	
「ピッピッピッ」と 音がした後、「消灯」する	電子ブロックが故障している	電源を切り、ご購入の販売店、工事店、または弊社「CSセンター」 にご相談ください	

上記の処置を行っても
現象が続く場合

- ①電源をいったん切り、約20秒以上経ってから再び電源を入れる
- ②器具のチャンネルを変更する ⑤ 8ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」参照

●上記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、ご購入の販売店、工事店、または弊社「CSセンター」にご相談ください。

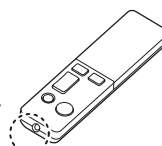
お手入れについて

安全のため、電源を切ってから行ってください

- 明るく安全に使用していただくため、
定期的(6か月に1回程度)に清掃してください。
- 汚れがひどい場合は、
石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、
乾いたやわらかい布で仕上げてください。
- リモコンのリモコン送信部は定期的にお手入れを行ってください。
ほこりなどにより汚れるとリモコンが効きにくくなります。

確認 シンナー、ベンジンなどの
揮発性のものでふいたり、
殺虫剤をかけたりしないでください。
変色、破損の原因となります。

リモコン
送信部



- 電池は半年を目安に取り替えてください。
※付属の乾電池は、最初に使用するために用意しているもので、
半年に満たないうちに消耗する場合があります。

【器具自体の留意点】

- 点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮によるきしみ音が照明器具から発生することがあります。
- 天井の材質や構造によっては、天井面が変色することがあります。
- 停電時、停電復帰時などで予期せぬ非常に短時間の停電が発生した場合、点灯状態が変わる場合があります。
長時間使わないときは、壁スイッチをOFFしてください。
- 壁スイッチがないリモコン送信器の電池が消耗した場合やリモコン送信器を紛失した場合に点灯消灯ができません。
- 壁スイッチがONの場合、消灯時も待機時消費電力を消費しています。
- LED、常夜灯にはバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- LED光源は、通常のランプのようにお客様自身でのお取り替えはできません。

【周囲の影響】

- 器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。
- 3Dテレビ用などの特殊なメガネをかけて点灯している照明器具を見た場合、縞模様やちらつきが見える場合があります。
- 3Dテレビ視聴時、リモコンが反応しにくい場合があります。
- 点灯中にビデオカメラを使用すると、ビデオカメラのモニターや録画画像に縞模様が入る場合があります。

仕様

品 番	使用電圧	周波数	消費電力		入力電流	飾り
DXL-81394	AC100 V	50/60 Hz共用	32W	リモコンOFF時(待機時状態) 1W 以下 常夜灯のみ 約1W	0.33A	ベージュ
DXL-81395			41W		0.42A	
DXL-81396			32W		0.33A	ブルー
DXL-81397			41W		0.42A	

●LED照明器具の光源寿命は、40,000時間です。(照明器具の寿命とは異なります。) 光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

●品番は器具本体表示をご参照ください。

保証とアフターサービス

DAIKO 照明器具 保証書

お客様	お名前	販売店名・住所・電話番号
	ご住所 〒	
	お電話 () -	
お買い上げ日	保証期間(お買い上げ日より：器具本体 3ヵ年 ※保証期間の例外：24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。	

※お客様へのお願い 本書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と合わせて大切に保管してください。

本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

本書は、本書記載内容で無償修理を行うことをお約束するものです。

1. 保証について

取扱説明書、本体表示ラベル等の注意書に従った正常なご使用状態で上記の保証期間中に故障した場合には、商品と本書をご持参のうえ、お買い上げの販売店にご依頼ください。尚、消耗品は対象外といたします。

お買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、お近くの大光電機お客様相談窓口にご連絡ください。

2. 保証期間中の無償修理に該当しない事項について

次の様な場合には、保証期間中でも有償修理になります。

(1) 取扱説明書及び本体表示ラベルと異なる施工による不備及び使用上の誤り、又は不当な修理や改造による故障及び損傷

(2) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷

(3) 一般家庭用以外(例えば業務用等)に使用された場合及び車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷

(4) この商品について出張修理をご希望の場合には出張に要する実費を申し受ける場合があります。

(5) 日本国内以外での使用による故障及び損傷 This warranty valid only in Japan

(6) 本書及び領収書のご提示のない場合

(7) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、字句を書き替えられた場合

3. ご転居の場合について

ご転居の場合の修理ご依頼先はお買い上げの販売店又はお近くの大光電機お客様相談窓口にご連絡ください。

4. ご贈答品の場合について

ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無償修理をお受けになれない場合には、お近くの大光電機お客様相談窓口にご連絡ください。

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店又は大光電機お客様相談窓口にお問い合わせください。その際は器具の型番、器具の症状、お買い上げ時期をお知らせください。

お客様にご記入いただきました保証書は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

商品の取扱いについてのお客様相談窓口

ナビダイヤル(全国共通) 0570-003-937

受付時間(月曜日～金曜日) 9:00～17:00
土・日・祝日、夏季、年末年始休業日は受付していません。

点検とお手入れ方法

1. 明るく安全に使用するために6ヵ月に1回程度、点検および清掃を行うことをおすすめします。

(1)点検項目

- ・LEDが切れていませんか。
- ・正常に点灯しますか。
- ・天井との取付部、各部品の合わせ目に異常なガタツキ、ゆるみはありませんか。
- ・異常な臭い、音、発熱はありませんか。
- ・カバー(セード)等にひび、割れ、変形等が発生していませんか。

(2)清掃(安全のため、電源を切ってから行ってください。)

器具のお手入れは柔らかい布で軽く拭いてください。

- ・汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤を含ませた布をよく絞って拭き、洗剤が残らないように水を含ませた布で2度拭きした後、乾いた柔らかい布で仕上げてください。
- ・木材、紙、布等の場合は水拭きせず、柔らかい布またははたきで、こまめにホコリを落としてください。
- ・シンナー、ベンジン等の揮発性のものは使用しないでください。

2. 異常時の処置

異常を感じた場合は、速やかに電源を切って、販売店、工事店、または当社「お客様相談窓口」までお申し出ください。(部品等の取り替えは勝手にしないでください。)